

就労継続支援 A 型 基本報酬に関する届出書
及び自己評価結果等の公表に係る届出書

1 事業所情報

事業所番号	4017701634									
事業所名称	a z u i 徳力									
事業の種類別	<input checked="" type="radio"/>	就労継続支援 A 型	指定年月日	令和 6	年	6	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	<input checked="" type="radio"/>	有	<input type="radio"/>	無	公表年月日	令和 8	年	4	月	15	日
公表方法 (該当するものに●)	<input checked="" type="radio"/>	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)									
	<input type="radio"/>	URL	http://yorocovi.biz								
	<input type="radio"/>	その他 (具体的な方法を記載してください)									
		具体的な方法									

3 基本報酬算定区分

(Ⅰ) 労働時間	40	点
(Ⅱ) 生産活動	40	点
(Ⅲ) 多様な働き方	15	点
(Ⅳ) 支援力向上のための取組	15	点
(Ⅴ) 地域連携活動	10	点
(Ⅵ) 経営改善計画	0	点
(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上	10	点

合計

130

 点
 / 200 点

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- ・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添 4 2 - 1 から 4 2 - 4 までの各様式を使用してください。
- ・ 地域貢献活動の報告書の公表については、別添 4 2 - 3 の様式を使用してください。
- ・ 利用者の知識・能力向上に係る実施状況の報告書については別添 4 2 - 4 を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)

※ 緑色のセルのみ入力してください

事業所名: azul 徳力
住所: 福岡県北九州市小倉南区徳力4-19-27
電話番号: 093-383-9920

事業所番号: 4017701634
管理者名: 下田愛美
対象年度: 令和6年度

(I) 労働時間
①1日の平均労働時間が7時間以上
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満
⑧1日の平均労働時間が2時間未満
40点

(II) 生産活動
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満
40点

(III) 多様な働き方(※)
①免許・資格取得、検定の受検助奨に関する制度
②利用者を職員として登用する制度
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律
④フレックスタイム制に係る労働条件
⑤短時間勤務に係る労働条件
⑥時差出勤制度に係る労働条件
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度
⑧傷病休暇等の取得に関する事項
15点

(IV) 支援力向上(※)
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会
②研修、学会等又は学会誌等において発表
③視察・実習の実施又は受け入れ
④販路拡大の商談会等への参加
⑤職員の人事評価制度
⑥ピアサポーターの配置
⑦第三者評価
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等
15点

(V) 地域連携活動
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している
10点

(VI) 経営改善計画
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。
0点

(VII) 利用者の知識・能力向上
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。
10点

(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注1) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点

項目別スコア表: 労働時間(40), 生産活動(40), 多様な働き方(15), 支援力向上(15), 地域連携活動(10), 経営改善計画(0), 利用者の知識・能力向上(10)

合計スコア: 130点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	43,408	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	10,622	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.09	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	--------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	42,625,252	円	利用者に支払った賃金総額	40,983,090	円	収支	1,642,162	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（令和 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	10,243,841	円	利用者に支払った賃金総額	40,836,005	円	収支	▲ 30,592,164	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前年度（令和 年度）

生産活動収入から経費を除いた額	45,729,868	円	利用者に支払った賃金総額	44,521,931	円	収支	1,207,937	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input type="checkbox"/>
-----------------------	--------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名 第6回合同職員研修会	
研修講師 伊東良輔	
実施日・受講者数 9月23日 8人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input type="checkbox"/>
※研修、学会等名	
実施日 月 日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している	
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名	
実施日/参加者数 月 日 人	
※他の事業所名 ビストロばるむ(就労B)	
実施日/参加者数 3月12日 2人	

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※商談会等名 守成クラブ	
主催者名 株式会社日本商工振興会	
日時 6月5日	
内容 フロアシートを使用したビジネスマッチング 商材の確保・顧客の拡大	

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑤当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日 平成29年12月1日	
人事評価制度の対象職員数 9名	
うち昇給・昇格を行った者 7名	
当該人事評価制度の周知方法 就業規則に併記	

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポート研修」を受講している	<input checked="" type="checkbox"/>
※配置期間 1月1日～3月31日	
就業時間 8:30～17:30	
職務内容 利用者との面談・就労支援	

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input checked="" type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日	

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	a z u l 徳力
住所	北九州市小倉南区徳力四丁目19番27号
電話番号	093-383-9920

事業所番号	4017701634
管理者名	下田愛美
対象年度	令和7年度



地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動場所 マエダ産業小倉南 北九州市小倉南区徳力1-15-2 実施日程 令和8年2月1日～2月28日 実施した生産活動・施設外就労の概要 自動車部品の組立を行う地元企業にて施設外就労 利用者数 20名 <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携活動のねらい 利用者の自立を地域で支える 地域にとってのメリット 製造コストの削減、労働力不足の解消 対象者にとってのメリット 地元企業への一般就労の可能性 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 地元の企業様に喜んで頂き、利用者にも自信がついた 地元での就職の可能性、地域共生社会の実現 課題点 より加工単価が高く、物量の安定した商材の仕入れ。 モデルチェンジの少ない家電製品など検討する。 	<p><活動の様子></p> <ul style="list-style-type: none"> 成果物の写真 MAZDA CXシリーズ W3958.CP3 W7826M.CP1 X350(LANケーブル)  <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子の写真 

連携先の企業等の意見または評価			
<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>地域連携活動も今年で4回目となる利用者もおられ、技術的・精神的にも大きな成長が見られた。</p> <p>人為的なミスの排除に積極的に取り組んでおり、写真付き作業指示書の利用を徹底している。それが不慣れな利用者も安心して作業できる環境づくりに一役買っており、不良品の数も減少した。今期も弊社への就労を希望する利用者がおられ、調整を図っている。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>元請けからの安定した受注確保の為、施設にも営業活動の参加をお願いしている。</p> <p>利用者の作業能力の数値化を行い効率よく作業適性を見極めることで、ミスマッチを防ぎ低ストレスの働きやすい労働環境の提供を目指していく。</p> <p>メーカーの不祥事等があり自動車部品だけでは安定した仕事の確保ができておらず、家電製品のハーネス等の作業受注量も増やしていく必要がある。</p>			
連携先企業名	合同会社マエダ産業	担当者名	石原宏行

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	a z u l 徳力	事業所番号	4017701634
住 所	北九州市小倉南区徳力4-9-27	管理者名	下田 愛美
電話番号	093-383-9920	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所 a z u l 徳力 北九州市小倉南区徳力4-9-27 ・実施日程 令和7年6月27日 ・実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 一般就労に向けての相談の仕方や取り組み方について知識を得る ・利用者数 21名 <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 一般就労を目指す利用者の方々の働くことについての相談の仕方や取り組み方などを講習を通して知識を得る事で備えていくことができる。 ・利用者にとってのメリット 医療機関や福祉施設、ハローワーク等の関係機関と協力・連携しているので専門的なアドバイスを受けることができる。 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施した結果 求職活動の為に必要な本人ができる準備や障害者就業のサポートと職場体験実習の取り組みについて理解を深め知ることができた。 ・得られた成果 講話終了後、資料を基に相談先や働き続ける為に必要な条件等を確認することができるようになり、自分に必要なことが分かるようになった。 ・課題点 利用者さんの求職活動への意欲、意識の向上が今後の課題とされます。 	<p><活動の様子></p>  
--	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>・連携した結果に対する意見または評価</p> <p>当日も多くの利用者の方々に当センターの支援及び職場実習についての取組みを聞いて頂きました。当センターからの説明後はオンライン参加の方々からの質問をお聞きし、A型から一般就労を希望する方の熱心さを感じました。一般就労への後押しを当センターと連携をして頂けると幸いです。</p> <p>・今後の連携強化に向けた課題</p> <p>引き続き今回のような利用者さんに向けての一般就労に向けた勉強会を継続していくが必要だと思えます。</p>	
連携先企業（担当者）	社会福祉法人みぎわ会 障害者就業・生活支援センターエール センター長 川上俊輔 様

利用者からの意見・評価

<p>・参加した利用者からの意見・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者A 60歳を過ぎてからの求職活動に不安があり、どこに相談すればいいかわからなかったので、今回の資料や講話など聞く事ができて連携先があることを知り活用してみたいと思った。 ・利用者B 就 労に関する不安や疑問、特に働くことへの心構えを知ることは就労意欲に必要なことなので、今後もまたこのような話に参加することはとても大事だと思った。
--